

長崎県雲仙市：

スポーツ少年団と温浴施設、まちづくり団体等

「i-Chan うんぜん」

一般社団法人 地域イノベーション推進機構
代表理事 林田 真明

きっかけ

- 部活動の地域展開
→練習場所の集約
→子どもたちの移動手段の必要性。
- 娘も吹奏楽部で中学校区を跨いで練習。
移動の課題を常々感じていた。
- 佐賀県武雄市のi-Chanキッズサポートを視察

プラットフォーム構成団体

(一社) 地域イノベーション推進機構、FCクーザ、
(株) NSP、遊学の里くにみ、クラブサンドウ、
雲仙市、雲仙市教育委員会

提供サービス

- 学習支援
- 競技キャリア形成相談
- **平日夕方の移動支援**
- 食事支援

※実証実験中（本年12月末まで）無料



共助版ライドシェア（許可登録不要型）

概要

- 中学校区を跨いだ子どもの習い事への送迎
- 地元温浴施設の車両及びドライバーの遊休時間帯を活用した移動手段を確立

車両台数

1台（マイクロバス 乗車定員29名）

ドライバー数

4名（遊学の里くにみスタッフ）

路線

吾妻中⇄瑞穂総合支所⇄国見中（路線型）

時間

平日17時～20時（定時運行）

その他

予約・運行情報共有（LINE利用）



令和7年8月19日 実証運行開始
i-Chanうんぜん号に乗り込む会員生徒たち

運行時間・経路



運行時間 (毎週 火・木・金)

往路			復路		
吾妻中学校	発	17:30	国見中学校	発	19:10
瑞穂総合支所	発	17:45	瑞穂総合支所	発	19:20
国見中学校	着	17:55	吾妻中学校	着	19:35



国見のバス送迎 アシスト

「サッカーのまちの部活動を支えたい」。高校サッカーの古豪、国見高がある雲仙市国見町で、中学生のクラブチーム「FCクワザ」の生徒を練習場に送迎するサービスが始まった。部活動の地域移行によって今春に発足したチームでは、以前から送迎に対する負担が保護者間で話題になってきた。国による本年度のモデル実証運行事業（総事業費524万円）に選ばれている。市内のスポーツ施設「遊学の里くにみ」のマイクロボス（29人乗り）を使用する。同施設の指定管理を請け負う株式会社NSPや市などで行っている組織「うんぜん共創プラットフォーム」が運行するという。国見中、国見高でサッカー部の指導経験があるNSPの菊田忠典社長（67）は「国見のサッカーを支えるお手伝いがしたい。遊学の里のPRにもつながる」と語る。

FCクワザには市内の国見、吾妻、瑞穂3校の28人が所属し、国見中のグラウンドで一緒に汗を流す。週3回、放課

サッカーのまちの部活動支えたい

雲仙市、スポーツ施設管理会社など 3中学校結び運行



送迎バスに乗り込むFCクワザの中学生たち

後に吾妻中、市瑞穂総合支所、国見中の3カ所で開催できる。利用は無料、事業の実施期間は12月28日まで、来年度以降の継続も視野に入れる。19日には市瑞穂総合支所で

(本山友彦)

出発式があり、事業主体の一つでもある市内の一般社団法人地域イノベーション推進機構、林田真明代表理事（56）が「中学生が移動手段をしっかりと確保でき、好きなサッカーに打ち込める。他の部活動での活用も探りたい」と話した。

西日本新聞（2025年8月27日）

県南県央・吉岐対馬

諫早 (080・4122・2714) 大村 (080・4122・2715)
西海 (080・4122・2733) 対馬 (080・4122・2739)



送迎バスに乗り込むFCクワザの部員

雲仙市瑞穂総合支所

部活地域移行へ送迎バスを

雲仙市など実証事業

雲仙市の学校部活動の本格的な地域移行に備え、地元の中学生サッカークラブチーム「FCクワザ」（28人）をバスで送迎する実証運行事業が19日、始まった。

学校部活動の地域移行は、これまで学校が担ってきた部活動の指導を、地域のクラブや団体に移す取り組み、少子化が進む中、子どもたちにとって持続可能な活動環境を整えるとともに、教員の負担軽減にもつながる狙いがある。

実証事業は、交通空白解消を目指す国土交通省のプロジェクト（最長3年）採択を受け、一般社団法人地域イノベーション推進機構（小浜町）や市など4団体が実施。部活動の地域展開に向けた移動手段確保の先進的取り組みとして全国5カ所、県内初のパイ

国見で活動のサッカークラブ 学区外からも通いやすく

ロットプロジェクトでは、総事業費は524万円。昨年発足したFCクワザには、国見、瑞穂、吾妻の市立中の生徒が所属し、国見中グラウンドで活動。保護者アンケートによると、国見中以外の部員が通いにく不便などという声が上がっていた。

実証事業では、市所有のバスを使い、市目見総合運動公園の指定管理者「NSP」が12月28日までの月、水、金曜日に運行。行きは吾妻中を出発し市瑞穂総合支所を経由して国見中へ、帰りは逆ルートになる。FCクワザ部員だけが乗車でき、無料。実証運行を経て、有料も他のクラブチームの利用などを検討する。

初日は出発式があり、子どもたちがバスに乗り込んだ。同機構の林田真明代表理事は「移動手段を確保することで、子どもたちがサッカーに打ち込んでほしい」と期待を語った。（関係めぐみ）

長崎新聞（2025年8月21日）

マニュアルに沿って事業構築

3週間で出来る！



共助版ライドシェア (i-Chan) 実現マニュアル

2025.02.17 ver.02

一般社団法人 全国自治体ライドシェア連絡協議会（全自連）

全体スケジュール



i-Chanスタートセットの活用



もしもの時に備えて

i-Chanライドシェア保険

「移動支援サービス専用自動車保険」 (損保ジャパン) に加入

i-Chanうんぜん号 運行実績

12回運行 (2025年8月19日~2025年8月31日)

のべ**226**人利用

(登録会員数 : 27人)

総運行距離**320.4**km

利用者ヒアリングまとめ

<保護者>

- ・送迎の手間が省けて助かっている。
（短縮時間50分～20分／1日あたり）
- ・子どもたちが時間を守るようになった。
- ・地域で顔馴染みの人たちが運営しているので安心。

<中学生>

- ・移動中からチームメートと交流できるので楽しい。
- ・親に迷惑をかけないで済む。
- ・サッカーの練習方法の相談などもでき、発見がある。

今後の展望

- ・ 部活動の地域展開を受けて、バレーボール部やダンス部から新たな利用希望があり、対応の可否を検討中
- ・ 車両及びドライバーの拡充
- ・ 自治体からの支援のあり方